



歌舞伎俳優

市川新之助

(改め市川海老蔵)



## 本を遺したい

.....  
平成十五年のNHK大河ドラマ「武蔵MUSASHI」の宮  
本武蔵役、市川新之助氏を取材することになった。

胸躍らせて、東京・目黒区青葉台の市川團十郎氏邸を訪ねた。  
日本間に通される。美しい庭の木立から小鳥の囀りなげ。そこに  
眼光も鋭い新之助氏が現れた。

「一言で言うと、『歌舞伎』は『日本』だと思っんです」。丸刈  
り坊主頭に、強い光を放つ鋭い眼め。組んだ二の腕の筋肉も逞し  
い。「最近、荒事をあらじと、どでかかやりたくなってきた」と肩が盛  
り上がる。

三百数十年、脈々と受け継がれてきた江戸歌舞伎伝統の「成  
田屋」。十二代市川團十郎氏の長男、七代目市川新之助氏は、今  
評判の「平成の三之助」の一人。梨園りえんの貴公子は、高校時代の  
二年間、正課で柔道を学び、初段を目指したことがある。

### \*プロフィール\*

市川新之助(いちかわ・しんのすけ)  
昭和52年(1977)東京生まれ。本名・堀越孝俊。十二代市川團十郎の長男。58年(88)5月『源氏物語』の「春宮」で初お目見得。60年(85)5月七代目市川新之助を襲名。尾上辰之助、尾上菊之助らとともに「平成の三之助」と呼ばれ人気急上昇。『光源氏』の光源氏役でブームを巻き起こす。平成15年(03)NHK大河ドラマ『武蔵 MUSASHI』で主役の武蔵役を好演。歌舞伎界随一の名門『成田屋』の御曹司として、平成16年(04)5月十一代目市川海老蔵を襲名。歌舞伎以外にも幅広く活躍中。



●小さい頃は喋らない子だった

小さい頃は大人しかった、という。

「表現することがすごく苦手で、人と喋るのしゃべが恥ずかしくて、家以外では喋らない子でしたね。で、ある時、『何で、オレは恥ずかしく思うんだ。恥ずかしがらなきゃいいんだ』と思い始めて、小学校の半ば過ぎから突然、ものすごく活発な子になっちゃったんです」(笑)

でもそれは、プライベートな部分でのこと。「人前で演じて楽しいと思ったことはないし、いまだに、舞台の上は恥ずかしいですよ」と苦笑い。

凛々りりしい顔が艶つやっぽくなる。

●武蔵は完璧主義を貫いた人

熊本の島田美術館へ行って、武蔵の筆になる水墨画を見た。

「あの『芦雁ろがんず図』を見た瞬間とき、ああ、この人は、あくまで完璧かんぺき主義者なんだ、って感じがしたんです。何事も、自分の目で見て感じた通り、素直に、まっすぐ貫いていく、それができた人なんじゃないか、やり遂げた人なんじゃないかって」

自分の中の「武蔵」に目覚め、どんどんイメージが膨らんで

福岡ダイエーホークス監督

王 貞治



# ボールを打つのではない 斬るのである

.....  
「明日天気なら、朝十一時半から千葉マリンスタジアムで、取材時間は二十分……」と広報担当加藤氏から電話をいただいた。快晴の翌日、三塁側ベンチ裏ケータリングルームで、待ちに待った取材となった。テレビで見慣れた王監督が勢いよく部屋に入ってくると、空気が一変した。

「人間、一生に一つのこと成せるかどうかです。それだけに武道は魅力のある、人を引き込む世界ですね」

目の前にいるのは、本塁打八百六十八本の大記録を持つ、王貞治福岡ダイエーホークス監督である。

鋭く澄んだ大きな瞳。全身から発せられる迫力。すべてが圧倒的だ。

日本プロ野球界の至宝、王貞治氏は、合気道と剣の理法を自身の一本足打法に取り入れ、独自の境地を拓いて世界のホーム

## \*プロフイール\*

王 貞治(おう・さだはる)

昭和15年(1940)東京都向島区(現墨田区)生まれ。早稲田実業学校高等部卒。33年(59)プロ野球・読売巨人軍に入団。55年(80)退団・引退。現役時代獲得タイトルは三冠王2回、MVP 9回、首位打者5回、本塁打王15回、打点王13回他。一本足打法でベーブ・ルース、ハンク・アーロンらを抜き世界記録を達成、通算本塁打868本は最多本塁打。52年(77)わが国の『国民栄誉賞』創設第一号受賞者となる。読売巨人軍監督を経て、平成6年(94)より現福岡ダイエーホークス監督。著書多数。



ラン王となった。

●ボールを斬る

読売巨人軍入団四年目、一本足打法を始めた年、荒川博コーチの導きで合気道と居合に出合  
う。「合気道の植芝盛平先生は、本当に体の小さな人でしたね。だけど、ものすごく目の鋭い人  
でした」とその印象を語る。

「居合は剣道の羽賀準一先生に習いました。形より、刀を振る  
ことを教えてもらったんです」

刀を振ることと、バットを振ることは同じだという。

「荒川さんの家で、新聞紙を切って作った短冊たんまぐを吊し、じつ  
と集中して、ここぞという瞬間に刀でスパッと斬る、そういう  
練習をしました」

切先きつさきを生かす技が、バットのヘッドスピードにも生かせたと  
いう。

「僕の場合、ボールを打つんじゃないなくて、斬るんです」、それが  
氏のホームラン打法だと語る。